

第9款 警 察 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 警察管理費	円	円		
2 警察本部費 (P190)	539,331,000 (72,471,956,208)	538,205,223 (72,279,982,618)	警察安全相談員設置事業 (広報応接課)	<p>1 施策の趣旨等 相談に対する知識や経験の豊富な元警察官を警察安全相談員として採用し、府民からの多種多様な相談に迅速・的確に対応することにより、安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 警察本部及び警察署に16人の警察安全相談員を配置して、府民からの各種相談を受理するとともに、相談内容に応じて関係部署に引き継ぐなど、相談案件の早期解決と事件の未然防止を図った。 警察安全相談員の年間相談受理件数 4,573件 (平成30年中) (主な内訳) 生活安全関係 (家庭・職場・近隣関係、悪質商法、サイバー犯罪関係等) 2,924件 刑事関係 (振り込め詐欺、恐喝、盗難、暴力団関係等) 814</p> <p>3 執 行 額 44,393,417円</p>
		決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,740,157 一般財源 536,465,066	少年非行抑止ネットワーク事業 (少年課)	<p>1 施策の趣旨等 警察本部及び警察署にスクールサポーターを配置し、学校、地域ボランティア、保護者、警察等の行政機関がネットワークを構築して連携することにより、少年非行を抑止する。 指標：非行防止教室実施小中学校数 目標：581校 (府内全小中学校) 実績：574校 (98.8%)</p> <p>2 施策の実施状況 元警察官42人をスクールサポーターとして採用し、警察本部及び各警察署に配置して、学校や地域ボランティア・PTAと協働した非行防止・立ち直り支援活動等を行うことにより、京都の未来を担う子どもたちの規範意識の向上と教育環境の正常化を図った。 学校訪問 (高等学校を含む) 9,452回 指導、助言 6,080 パトロール 25,203回 17,029時間 非行防止教室等開催 2,250</p> <p>3 執 行 額 115,120,817円</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																														
	円	円	<p>交番機能強化事業 (地域課)</p> <p>交番相談員「地域の セーフティコンシェル ジュ」設置事業 (地域課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 交番相談員を交番に配置し、警察官のパトロールの強化や事件・事故等の対応により交番に警察官が不在の場合でも来訪者に適切な対応ができるようにするほか、地域の防犯アドバイザーとして、子ども・地域安全見守り隊等の自主防犯活動に対する指導連絡や助言を行い、交番の機能強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 136交番に各1人の交番相談員を配置して、警察官のパトロール時間を確保するとともに、地理案内や遺失・拾得届の受理、交番の出入口付近に立ち、通行人等に対して声かけや道案内等を行う活動、事件又は事故発生時における警察官への連絡を行うなど、交番の円滑な活動に寄与した。また、防犯アドバイザーとして、地域住民の自主的な防犯活動に対する指導連絡及び助言を行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">交番相談員（136人）の年間取扱件数（平成30年中）</td> <td style="text-align: right;">257,554件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（内訳）</td> </tr> <tr> <td>各種相談受理、事件事故通報</td> <td style="text-align: right;">17,232件</td> </tr> <tr> <td>遺失・拾得届の受理</td> <td style="text-align: right;">30,964</td> </tr> <tr> <td>被害届代書預かり</td> <td style="text-align: right;">519</td> </tr> <tr> <td>各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言</td> <td style="text-align: right;">5,897</td> </tr> <tr> <td>電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）</td> <td style="text-align: right;">97,582</td> </tr> <tr> <td>その他来訪者対応（地理案内等）</td> <td style="text-align: right;">105,360</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 371,093,628円</p> <p>1 施策の趣旨等 高齢者や子どもの見守り活動を強化し、安全・安心の地域づくりを推進するため、地域のセーフティコンシェルジュの役割を果たす交番相談員を配置する。</p> <p>2 施策の実施状況 交番相談員を4人増員し、これまで交番相談員の配置がなかった4交番に各1人を配置し、交番機能を強化した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">交番相談員（4人）の年間取扱件数（平成30年中）</td> <td style="text-align: right;">2,853件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（内訳）</td> </tr> <tr> <td>各種相談受理、事件事故通報</td> <td style="text-align: right;">164件</td> </tr> <tr> <td>遺失・拾得届の受理</td> <td style="text-align: right;">327</td> </tr> <tr> <td>被害届代書預かり</td> <td style="text-align: right;">30</td> </tr> <tr> <td>各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）</td> <td style="text-align: right;">1,779</td> </tr> </table>	交番相談員（136人）の年間取扱件数（平成30年中）	257,554件	（内訳）		各種相談受理、事件事故通報	17,232件	遺失・拾得届の受理	30,964	被害届代書預かり	519	各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	5,897	電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）	97,582	その他来訪者対応（地理案内等）	105,360	交番相談員（4人）の年間取扱件数（平成30年中）	2,853件	（内訳）		各種相談受理、事件事故通報	164件	遺失・拾得届の受理	327	被害届代書預かり	30	各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	6	電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）	1,779
交番相談員（136人）の年間取扱件数（平成30年中）	257,554件																																	
（内訳）																																		
各種相談受理、事件事故通報	17,232件																																	
遺失・拾得届の受理	30,964																																	
被害届代書預かり	519																																	
各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	5,897																																	
電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）	97,582																																	
その他来訪者対応（地理案内等）	105,360																																	
交番相談員（4人）の年間取扱件数（平成30年中）	2,853件																																	
（内訳）																																		
各種相談受理、事件事故通報	164件																																	
遺失・拾得届の受理	327																																	
被害届代書預かり	30																																	
各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	6																																	
電話による独居高齢者等に対する防犯指導等（いたわりテレホン）	1,779																																	

				その他来訪者対応（地理案内等）	547
				3 執行額	7,597,361円
4 警察施設費 (P192)	4,186,409,000 (5,047,582,000)	3,513,005,174 (4,371,070,250)	警察本部庁舎建設事業 (会計課)	1 施策の趣旨等 災害発生時の拠点施設としての機能を併せ持つ警察本部新庁舎を建設する。	
	翌年度への繰越 事業費繰越額 642,588,000	決算額の財源 内訳 国庫支出金 773,579,000		2 施策の実施状況 警察本部庁舎を移転建替するため、建設工事を継続実施した。	
	(警察本部庁舎建 設費 604,985,000)	繰越金 205,000		3 執行額	1,782,271,170円
	府有施設ブロック 塀等緊急安全 対策事業費 (37,603,000)	府債 2,536,000,000 一般財源 203,221,174	宇治警察署建設調査事 業 (会計課)	1 施策の趣旨等 昭和43年築で、老朽化、狭あい著しい宇治警察署の早期整備のため、建替方法等の検討に 向けた調査を実施する。	
			2 施策の実施状況 基本構想を策定した。		
			3 執行額	378,000円	
			交番整備事業 (会計課 地域課)	1 施策の趣旨等 女性や地域の力を活かし、地域防犯力を向上させ、安全で安心なまちづくりを推進するた め、交番の整備を計画的に行い、その機能の充実・強化を図る。	
				2 施策の実施状況 (1) 機能充実・強化のための再編整備 住吉交番（伏見警察署） (2) 女性勤務交番の改修 銀閣寺交番（川端警察署）、東寺前交番（南警察署） (3) 老朽化交番の建替整備 出町交番（上京警察署）、綾部駅前交番（綾部警察署）	
				3 執行額	91,264,720円
			府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (会計課)	1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、 道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施 設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>2 施策の実施状況 施設数 18施設</p> <p>3 執 行 額 22,080,805円 (うち工事請負費 19,013,605円)</p>
			府民公募型整備事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 府民との協働や地域との連携による公共事業をより一層推進するため、府民からの公募等に基づき、地域や市町村と連携し、身近な安心・安全や景観美化のための地域基盤の整備や誰にもやさしいまちづくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>ア 交通信号機の新設 押ボタン式信号機新設 1基 歩行者用・車両用灯器増設 11灯</p> <p>イ 交通信号機の改良整備 歩行者用・車両用灯器LED化 27灯 信号機改修 1基 信号機移設等 1</p> <p>ウ 道路標識の整備 集中3可変灯火式可変標識取替 8面</p> <p>エ 道路標示の整備 横断歩道の設置塗替 278本 実線標示の設置塗替 47.13km 図示標示の設置塗替 696本 自転車横断帯の設置塗替 47 道路標示の消除 0.81km</p> <p>3 執 行 額 95,381,280円</p>
			府民協働型インフラ保 全事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 インフラの長寿命化やきめ細やかな地域づくりに生かすため、身近な安心・安全につながる小規模な工事及びインフラの劣化等に関する府民の気づきを募集し、府民協働によるインフラ保全を推進する。</p>

				<p>2 施策の実施状況</p> <p>ア 交通信号機の改良整備</p> <p>歩行者用・車両用灯器LED化 43灯</p> <p>歩行者用・車両用灯器増設 29</p> <p>信号機多現示化 2基</p> <p>視覚障害者用付加装置 2</p> <p>信号機移設等 11</p> <p>イ 道路標識の整備</p> <p>路側式標識 2,486本</p> <p>ウ 道路標示の整備</p> <p>横断歩道の設置塗替 195本</p> <p>実線標示の設置塗替 22.97km</p> <p>図示標示の設置塗替 371本</p> <p>自転車横断帯の設置塗替 40</p> <p>3 執行額 119,562,264円</p>
		交通安全施設整備事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等</p> <p>交通事故の抑止と交通の円滑化による交通渋滞や交通公害の減少を図るため、交通安全施設の計画的な整備を行い、安全な交通環境の実現を図る。</p> <p>指標：交通事故発生件数 目標：6,500件以下 実績：6,142件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 補助事業</p> <p>ア 交通管制システムの整備</p> <p>交通管制センター整備 一式</p> <p>集中制御機 20基</p> <p>情報収集装置 二式</p> <p>情報収集提供装置 12基</p> <p>交通情報板 1</p> <p>イ 交通信号機の新設</p> <p>プログラム多段式信号機新設 2基</p> <p>歩行者用・車両用灯器増設 21灯</p> <p>ウ 交通信号機の改良整備</p> <p>信号機プログラム多段系統化 10基</p> <p>信号機プログラム多段化 15</p> <p>歩車分離化 1</p> <p>信号機多現示化 3</p>	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		視覚障害者用付加装置 11基 高齢者等感応化 2 歩行者用・車両用灯器LED化 420灯 信号機移設等 10式 配線地中化 5 エ 道路標識の整備 路側式標識（高輝度） 430本 オ 道路標示の整備 横断歩道の塗替 18.42km 実線標示の塗替 9.80 (2) 単 独 事 業 ア 交通管制システムの整備 交通管制センター整備 一式 交通管制情報線改修等 39本 イ 交通信号機の新設 プログラム多段式信号機新設 3基 押ボタン式信号機 4 歩行者用・車両用灯器増設 47灯 ウ 交通信号機の改良整備 歩行者用・車両用灯器LED化 4灯 信号機多現示化 1基 信号機改修 7 信号機電源付加装置 58 信号機移設等 59 歩車分離化 1 エ 道路標識の整備 路側式標識 3,533本 大型固定反射式標識板 4 標識の建植手入れ 一式 オ 道路標示の整備 横断歩道の設置塗替 640本 実線標示の設置塗替 6.23km 図示標示の設置塗替 1,630本 自転車横断帯の設置塗替 131 道路標示の消除 3.47km カ 交通信号機等の維持管理 一式
			3 執 行 額	1,402,066,935円

<p>2 警察活動費</p> <p>1 警察活動費 (P192)</p>	<p>190,258,000 (2,083,433,800)</p>	<p>185,556,633 (2,072,829,863)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 29,263,211 諸 収 入 2,776,279 一般財源 153,517,143</p>	<p>犯罪被害者等支援活動 推進事業 (警 務 課)</p> <p>Welcome Kyoto Project 事業 (警 務 課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため、犯罪被害者等基本法、第3次犯罪被害者等基本計画に基づき各種施策を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 関係機関・団体と連携するとともに社会全体で犯罪被害者等をサポートする気運を醸成した。 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の運営</p> <p>(2) 被害者支援の確実な実施のために相談受理体制の充実と効果的な広報啓発活動を行った。 ア 性犯罪相談ダイヤル「ハートさん」等の各種相談窓口の運用 イ 被害者相談窓口広報用のウェットティッシュや警察における被害者支援の広報用リーフレットを活用した広報啓発活動の実施 (主な広報啓発活動) 地域イベント、街頭等における広報啓発活動 学校、大学における広報啓発活動 警察署単位犯罪被害者支援連絡協議会における広報啓発活動 生命のメッセージ展の開催 京都府犯罪被害者支援連絡協議会会員等と協働したイオンモール京都桂川における遺族講演及び広報啓発活動</p> <p>(3) 身体犯被害者・性犯罪被害者等の診断書料等に係る経費を公費負担し、被害者等の経済的負担の軽減を図った。 ア 身体犯被害者に対する初診料、診断書料 イ 性犯罪被害者に対する初診料、診断書料等 ウ 一時避難に係る宿泊施設利用料 エ 精神科医師の診察料等 オ 司法解剖後における死体検案書料</p> <p>3 執 行 額 3,624,244円</p> <p>1 施策の趣旨等 急増する訪日外国人が当事者となる事件事故や遺失拾得、地理案内等の様々な警察事象に迅速・的確に対応し、府民も訪日外国人等も京都の良好な治安を等しく体感できる環境を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 日本語を解さない外国人からの急訴、各種届出等に対応するための資機材を訪日外国人等の来所が多い交番等に整備するなど、コミュニケーションの円滑化を図った。</p>
--	--	---	---	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>ア 外国語翻訳タブレットの整備 5台</p> <p>イ 24時間多言語コールセンターの活用による申告概要の把握 267件</p> <p>(2) 防犯・防災情報や遺失届・拾得届の届出要領のほか、日本の制度・手続等、警察活動に係る情報の入手が容易にできる環境を整備し、訪日外国人等に対する伝達手段の強化を図った。</p> <p>ア 京都府警察ホームページ（一部）の英語・中国語（簡体字）・ハンデルへの翻訳</p> <p>イ 外国人向け広告雑誌を活用した防犯情報の発信 280,000部</p> <p>ウ 外国人110番サポートカード、啓発ポスターの作成 49,000枚</p> <p>エ 押ボタン式信号機外国語説明板の整備 35箇所</p> <p>(3) 警察組織全体の英会話能力向上のため、各種教養に専従する非常勤嘱託職員1人を採用して、効果的・継続的な教養のほか、外国人留学生を対象とした防犯・交通安全指導を実施した。</p> <p>ア 警察署英会話出前教養等受講者 1,537人</p> <p>イ おもてなし通訳人研修会等受講者 313</p> <p>ウ 訪日外国人対応ブラインド訓練対象者 193</p> <p>エ 外国人対象防犯・交通安全教室参加者 129</p> <p>3 執 行 額 9,812,605円</p> <p>1 施策の趣旨等 刑法犯少年の検挙・補導人員の中で高い割合を占める万引き・自転車盗等の身近な犯罪の発生を抑えるため、住民、事業者、行政との協働による抑止活動を推進する。</p> <p>指標：刑法犯認知件数 目標：前年（平成29年中18,603件）以下 実績：16,821件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 京都府万引き防止対策推進協議会加盟店舗等と連携し「万引き防止キャンペーン」を実施するとともに、各店舗において万引き防止啓発ステッカーを掲示するなどして万引きを許さない社会気運を醸成した。</p> <p>ア 万引き防止キャンペーンの実施 （主な取組み） 四条繁栄会におけるキャンペーン（下京警察署） 高島屋京都店前における中学生と連携したキャンペーン（下京警察署） イオンモール五条における防犯推進委員と連携したキャンペーン（右京警察署） ショッピングセンターメインにおけるキャンペーン（京丹後警察署）</p>
			身近な犯罪を許さない 社会づくり推進事業 (生活安全企画課)	

			<p>ストーカー相談支援センター運営事業 (人身安全対策課)</p>	<p>イ 啓発ステッカーの掲示 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 1,200枚</p> <p>ウ 万引き防止ハンドブックを活用した防犯指導 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 1,800部 (主な取組み) MOMOテラス内60店舗に対する防犯指導(伏見警察署) ジュンテンドー西舞鶴モール店に対する防犯指導(舞鶴警察署)</p> <p>(2) 自転車盗の抑止を目的とした「鍵-1 グランプリ2018」の実施により、中高生の規範意識、防犯意識を醸成した。</p> <p>ア 参加状況</p> <table border="0"> <tr> <td>学校対抗自転車鍵かけコンテスト参加校(高等学校対象)</td> <td>74校</td> </tr> <tr> <td>自転車鍵かけイラストコンテスト応募数(中学生対象)</td> <td>中学生 148作品 高校生 163</td> </tr> </table> <p>イ 鍵かけイラスト入りポスターの掲示 府内全中学校・高等学校、マクドナルド、パナソニックサイクルテック株式会社等 1,000枚</p> <p>ウ 中高生を対象とした自転車盗被害防止キャンペーンの実施 (主な取組み) 龍谷大学附属平安中学校・高等学校における高校生と連携したキャンペーン(下京警察署) イオンモール高の原における中学生と連携したキャンペーン(木津警察署) 与謝野町立江陽中学校通学路における中学生と連携したキャンペーン(宮津警察署)</p> <p>(3) 学生・現役世代による防犯ボランティア活動を促進するため、活動用ベスト等の物的支援や防犯ボランティア保険への加入支援を行った。 (学生防犯ボランティアの主な活動実績)</p> <table border="0"> <tr> <td>啓発活動</td> <td>45回</td> </tr> <tr> <td>パトロール</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>防犯教室</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>3 執行額 5,118,766円</p> <p>1 施策の趣旨等 ストーカー認知件数の増加等を踏まえ、ストーカー事案に特化した相談センターを運営する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ストーカー事案の被害者のみならず、被害者の家族や加害者等の幅広い対象から早期に相談を受理するストーカーに特化した専門の相談窓口を運営することで、重大事件への発展の未然防止を図った。</p>	学校対抗自転車鍵かけコンテスト参加校(高等学校対象)	74校	自転車鍵かけイラストコンテスト応募数(中学生対象)	中学生 148作品 高校生 163	啓発活動	45回	パトロール	32	防犯教室	25
学校対抗自転車鍵かけコンテスト参加校(高等学校対象)	74校													
自転車鍵かけイラストコンテスト応募数(中学生対象)	中学生 148作品 高校生 163													
啓発活動	45回													
パトロール	32													
防犯教室	25													

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>相談受案件数 898件 内訳 電話相談 749 メール相談 135 面接相談 14</p> <p>(2) 関係機関と連携し、ストーカー加害者に対するカウンセリングを実施して、被害者に対する執着心や支配意識の除去を図り、被害者の保護対策を行った。 加害者カウンセリングの実施回数 20回（6人）</p> <p>3 執 行 額 2,136,599円</p>
			住宅宿泊事業法関係事業 (生活保安課)	<p>1 施策の趣旨等 民泊の現状や問題点について、関係機関との間で緊密に情報共有を図るとともに、指導に従わない悪質な民泊事業者等に対する取締強化に対応するための資機材を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 インターネットを活用したヤミ民泊情報の収集・分析を行うとともに、行政指導に従わない悪質なヤミ民泊事業者等を旅館業法違反等で検挙した。</p> <p>3 執 行 額 938,831円</p>
			青少年に対するサイバー犯罪被害防止対策事業 (サイバー犯罪対策課) 少年課	<p>1 施策の趣旨等 サイバー犯罪から青少年を守るための対策を実施するとともに、複雑、多様化、増加するサイバー犯罪に対する捜査体制の強化を図る。</p> <p>指標：警察職員やネット安心アドバイザー等によるサイバー犯罪被害防止講演の実施回数 目標：1,750回以上 実績：2,180回（平成30年中）</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 青少年のネット問題等に専門的知識を有する大学准教授等を「ネット安心アドバイザー」として登録し、府内の高等学校等においてサイバー犯罪被害防止に係る講演を実施し、青少年のネットモラルの醸成や、ネットトラブル対応能力の向上を図った。 実施回数 137回 アドバイザー登録数 23人</p> <p>(2) 援助交際等のインターネット上の不適切な書き込みをサイバーパトロールで発見し、児童と接触して補導する「サイバー補導」を実施することで、児童の被害の未然防止を行った。 ア サイバー補導取組状況（平成30年中） 交信回数 696回</p>

				<p>不適切な書き込みの発見 165件 現場接触の実施 11 イ サイバー補導実施状況（平成30年中） 補導人員 11人</p> <p>3 執行額 3,378,143円</p>
		ネットトラブル対策強化事業 (サイバー犯罪対策課)	<p>1 施策の趣旨等 多様化するネットトラブルから青少年や高齢者を守るため、体験型学習（アクティブラーニング）のためのコンテンツを開発し、被害の未然防止を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 受講者各自がタブレット端末を操作して、ワンクリック詐欺やSNSへの不用意な投稿によるトラブル等を疑似体験しながら手口や対処法を学ぶ体験型学習（アクティブラーニング）を実施するためのコンテンツ開発、資機材の整備を行った。</p> <p>3 執行額 10,922,273円</p>	
		予測型犯罪防御システム活用事業 (刑事企画課)	<p>1 施策の趣旨等 高度な犯罪分析機能により犯罪分析を行うとともに、AIを活用し、分析精度の向上を図ることで、的確なパトロールコースの選定や府民への効果的な情報発信による犯罪抑止活動を強化するとともに、犯罪の早期検挙を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 府民との協働パトロールをはじめとした犯罪分析エリアでの重点的な犯罪抑止活動の実施や、先制的な検挙活動による住宅侵入窃盗や街頭犯罪の事件検挙等、予防・検挙の両面で成果を挙げた。</p> <p>3 執行額 107,716,983円</p>	
		特殊詐欺緊急対策事業 (捜査第二課)	<p>1 施策の趣旨等 被害件数・被害額ともに依然として高水準で推移している特殊詐欺被害の撲滅に向け、犯行抑止対策や金融機関等と連携した被害未然防止対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) だまされた振り作戦の成功に資するため、被害者の心理的負担の軽減、被害者と警察の連携の円滑化を図る「だまされた振り作戦支援ツール（通信端末）」を警察本部、各警察署に配備して、同作戦による検挙の強化を図った。 支援ツール配備台数 81台</p>	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	危機管理態勢充実・強化事業 (警備第一課)	<p>だまされた振り作戦実施数 165件 (平成30年中) だまされた振り作戦による検挙数 12</p> <p>(2) 犯人グループが使用する電話に集中的に電話を架け続け、その使用を事実上不能とする「集中架電システム」を運用し、犯行ツール対策の強化を図った。 対象犯行使用電話回線 446回線 (平成30年中) 集中架電回数 8,902,463回</p> <p>(3) 現金送付型の特殊詐欺被害の未然防止を図ることを目的としたポスターの掲出や、高齢者の特殊詐欺に対する防御力を高める啓発チラシを配布し、被害未然防止対策の強化を図った。 ア 特殊詐欺被害抑止広報ポスター 3,500枚 府下府内郵便局467局とコンビニ1,096店舗において掲出 イ 特殊詐欺対策広報啓発チラシ 50,000枚 各警察署において合計3,739回行った各種広報啓発活動の機会において府民に配布</p> <p>3 執 行 額 6,617,663円</p> <p>1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害発生時に備えて災害警備活動用資機材を整備することにより、初動態勢の早期確立を始めとする危機管理態勢の充実・強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 災害映像送受信装置の整備 災害現場における救出救助現場の状況をリアルタイムで把握するため、これらの活動に従事する警察官が装着したウェアラブルカメラを装着させ、撮影した映像を警察本部等に送信できる災害映像送受信装置の整備を行った。 災害映像受信装置 1台 災害映像送信装置 3 ウェアラブルカメラ 3</p> <p>(2) 放射線防護資機材の点検整備 原子力関連事故等発生時の部隊活動に必要な放射線防護資機材(サーベイメータ、個人線量計)の点検整備を実施した。 サーベイメータ 表面用 49台、空間用 51台 個人線量計 1,111台</p> <p>(3) 化学防護服の整備 NBCテロ事案等発生時に、NBCテロ対策部隊(機動隊)が危険区域において救出救助活動、避難誘導等の初動措置を実施するため、化学防護服3式の整備を行った。</p>

				<p>(4) 災害活動用ヘルメットの整備 災害警備部隊の活動時に部隊員の頭部を保護するため、災害活動用ヘルメット198個の整備を行った。</p> <p>(5) 多言語翻訳機能付き拡声器の整備 原子力災害発生時、訪日外国人等に外国語での指示伝達による円滑な避難誘導等を実施するため、多言語翻訳機能付き拡声器10台の整備を行った。</p> <p>(6) 救出救助・捜索活動用船外機付きゴムボートの整備 台風や集中豪雨等による水害発生時に備え、救出救助・捜索活動用船外機付きゴムボートの老朽化に伴う更新整備及び新規整備を行った。</p> <p>更新整備 田辺警察署 1艘 新規整備 綾部警察署 1</p> <p>3 執 行 額 35,290,526円</p>
--	--	--	--	---

